

鳥取県青少年育成アドバイザー 協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信30号
鳥取県青少年育成アドバイザー協議会
発行日 2002. 3. 25
編集 芳村恵子
〒680-0002 鳥取市浜坂東1-10-15

平成13年度 鳥取県青少年育成

アドバイザー協議会研修会

日時 平成14年2月10日(日)
会場 鳥取市さざんか会館

鳥取県青少年育成アドバイザー協議会研修会が開催されるようになって15回目になる。今回初めて鳥取市が会場に選ばれ、10人の会員が集まった。

青少年育成鳥取県民会議事務局長 山崎洋一氏を講師に迎え、「青少年育成鳥取県民会議の取り組みについて」という講演をして頂いた。その内容をまとめると、次の通りである。

鳥取県でも、出会い系サイトや有害図書販売、そしてタバコ問題など青少年を取り巻く数多くの問題がはびこり、非行も年々増加している。

昭和39年前後、第2の非行のピークと言われた頃、青少年育成の国民運動の必要性が叫ばれるようになり、昭和42年5月国民会議が発足した。鳥取県でも、その年の9月に知事が会長になって県民会議が結成された。

当時は、青少年を団体活動に所属させて団体育成に力を入れたり、勤労青少年への援助活動を主に行っていた。

最近「大人が変われば、子どもも変わる」をキャッチフレーズに、夏の青少年を見守る運動・『三ない運動』『白ポスト運動』などの環境整備・毎月第三日曜日を『家庭の日』とするなどの県民活動に力を入れるようになった。また、今年度の活動の中で12年度より開始された「青少年育成国際協力推進事業」がある。しかし、帰国後就職がなかなか出来ないで県外へ出てしまう人材が多く、この「やる気満々の人を支援しよう」という取り組みをするようになった。

その他、新聞などに載せられた数多くの活動が紹介された。時には子ども達と共に、時

には「地域のおじさん・おばさん運動」として熱心な取り組みがなされていた。

私は若かりし頃、勤労青少年ホームを基地に思い存分活動し、今に繋がる多くの友達を得たことを思い出しながら、県民会議の歴史を聞かせて頂いた。あの頃の若者も父親母親、もしくはお爺さんお婆さんとなっているだろうが、様々な方向から現状に立ち向かっていたら、物凄いパワーになるだろうなと懐かしく思い出され、ついつい思い出し笑いをしてしまった。

芳村 恵子



平成14年度(第8回)

中国・四国ブロック青少年育成

アドバイザー研究集会(鳥取大会)

第2回実行委員会

研修会に引き続き、県教委の山下さん、県民会議の山崎事務局長及び足立さんをお招きして、実行委員会が開催された。

具体的な日程・会員としての役割・開催要項など、事務局から提出された案をたたき台にほぼ決定段階まで検討された。

詳細は、事務局より配布されるので、鳥取大会が成功するように、協力しあって頑張っていきましょう。

